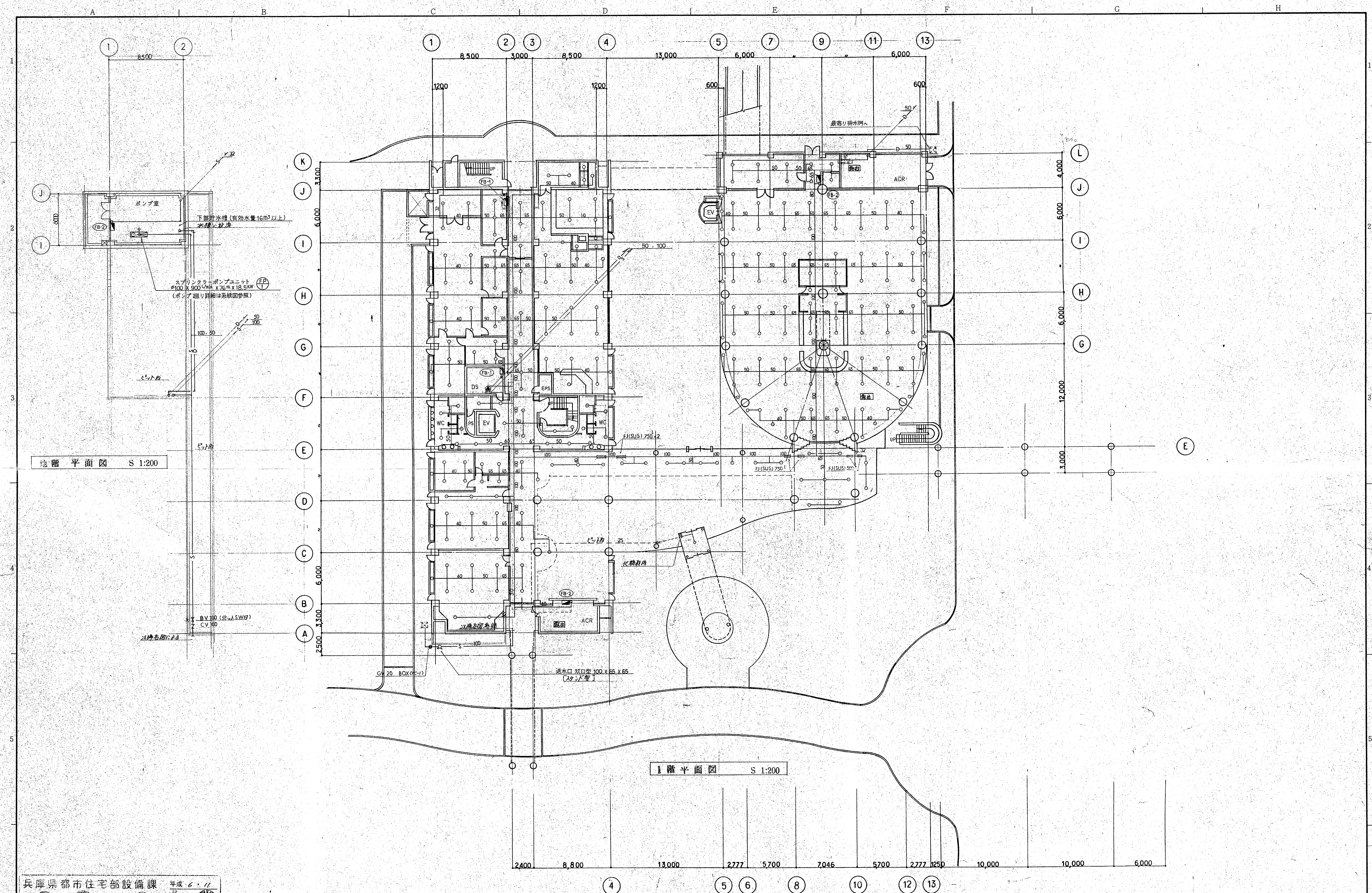
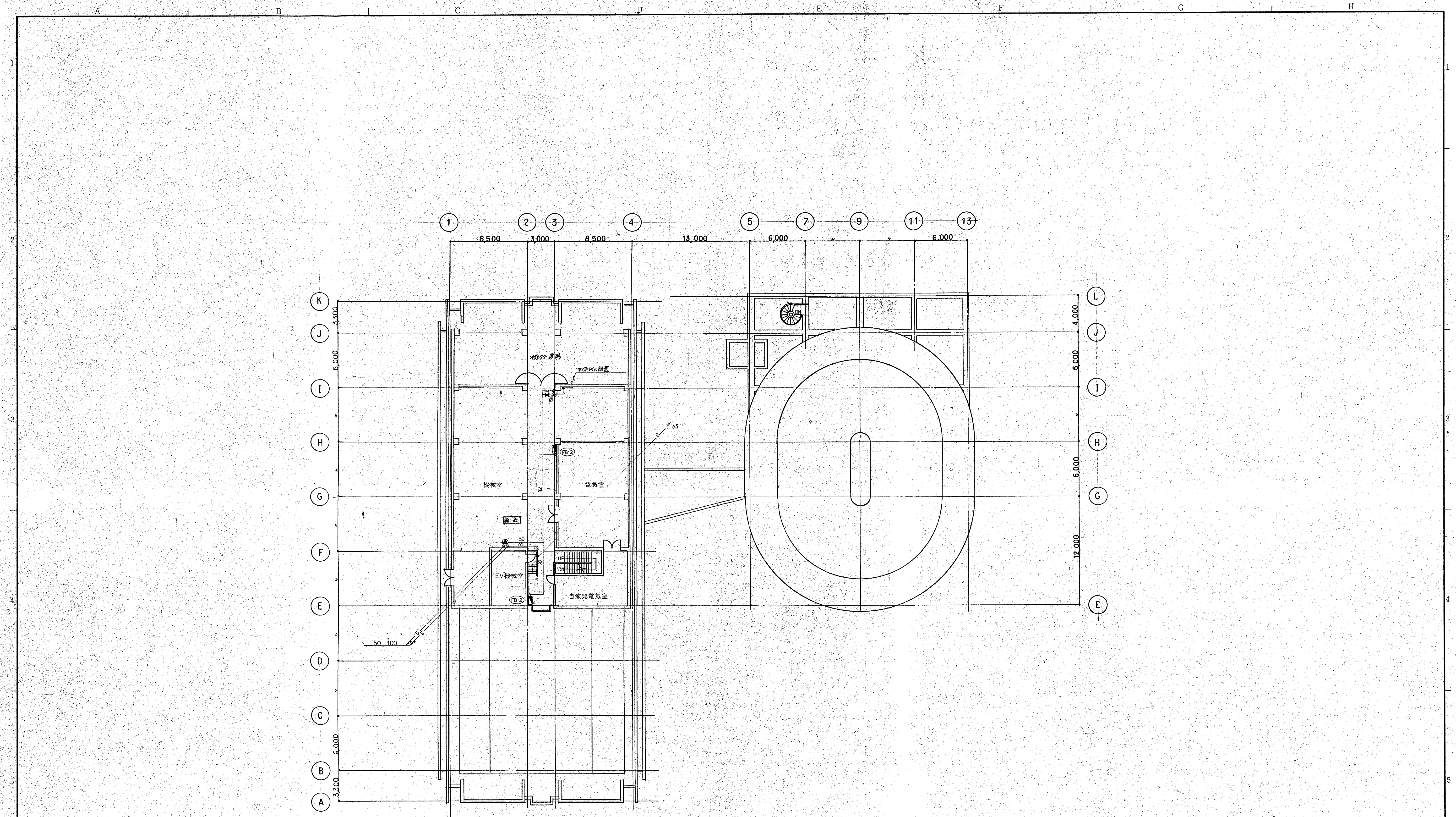






4階平面図 S 1:200

兵庫県都市住宅部設備課 平成 6・11
課長 副課長 (主任) 技術専門員 係長 担当

附記事項

株式会社
小野建築設計事務所

工事名称 福祉施設工事に伴う改修工事
図面名称 消火設備
4階平面図

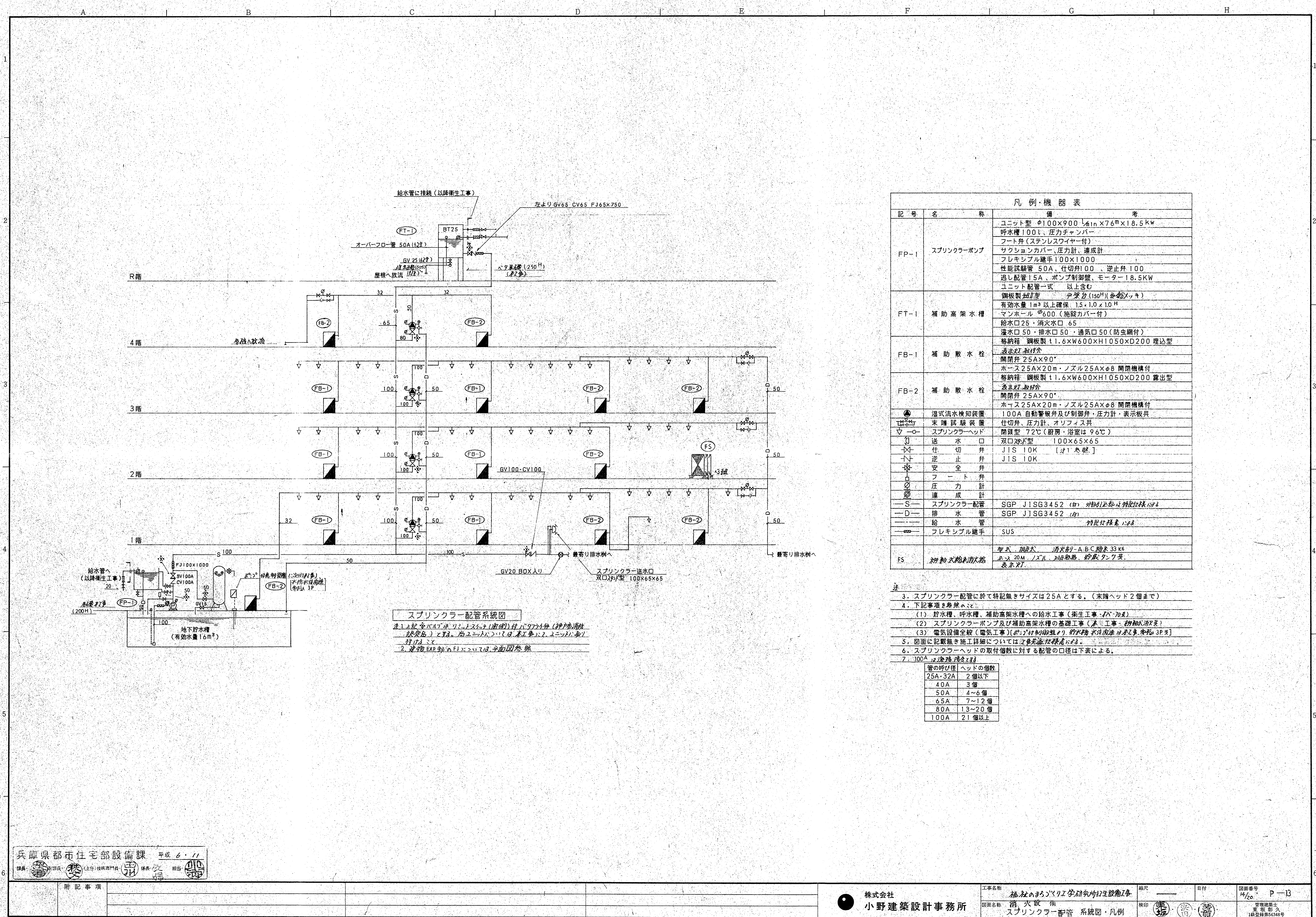
縮尺 S 1:200

日付

図面番号 P-17

検査 監理 承認

管理職 東 敬 彰 久
1級建築士 54348号



スプリンクラー配管系統図

注1. 上記各バルブは、リミットスイッチ (前掲) 付バタフライ弁 (神戸消防
認定品) とする。尚ユニットバスの場合は、本工事にて、ユニットバスに
付けること。
注2. 建物EXP部のFJについては、事前図参照

凡例・機器表

記号	名称	備考
FP-1	スプリンクラーポンプ	ユニット型 $\phi 100 \times 900$ $41n \times 76m \times 18.5kw$ 呼水槽 100t、圧力チャンパー フート弁 (ステンレスワイヤー付) サクシヨンカバー、圧力計、連成計 フレキシブル継手 100x1000 性能試験管 50A、仕切弁 100、逆止弁 100 逃し配管 15A、ポンプ制御盤、モーター 18.5KW ユニット配管一式 以上含む
FT-1	補助高架水槽	鋼板製 組立型 分区分 (150H) (要2重) 有効水量 1m³ 以上確保 1.5 x 1.0 x 1.0 H マンホール $\phi 600$ (施設カバー付) 給水口 25、消火水口 65 溢水口 50、排水口 50、通気口 50 (防虫網付) 格納箱 鋼板製 t1.6 x W600 x H1050 x D200 埋込型
FB-1	補助散水栓	逃水口 取付金具 開閉弁 25A x 90° ホース 25A x 20m・ノズル 25A x $\phi 8$ 開閉機構付
FB-2	補助散水栓	逃水口 取付金具 開閉弁 25A x 90° ホース 25A x 20m・ノズル 25A x $\phi 8$ 開閉機構付
●	湿式流水検知装置	100A 自動警報弁及び制御弁・圧力計・表示板共
○	末端試験装置	仕切弁、圧力計、オリフイス共
▽	スプリンクラーヘッド	閉鎖型 72℃ (厨房・浴室は 96℃)
□	送水口	双口型 100 x 65 x 65
×	仕切弁	JIS 10K [対1参照]
↑	逆止弁	JIS 10K
○	安全弁	
○	フート弁	
○	圧力計	
○	連成計	
—S—	スプリンクラー配管	SGP JISG3452 (B) 分区分部は特記無きサイズ
—D—	排水管	SGP JISG3452 (B) 特記無きサイズ
—	給水管	特記無きサイズ
—	フレキシブル継手	SUS
FS	新式粉末消火器	型式 加圧式 消火剤 A B C 粉末 33kg ホース 20m・ノズル 加圧式 貯蔵タンク共 表示灯

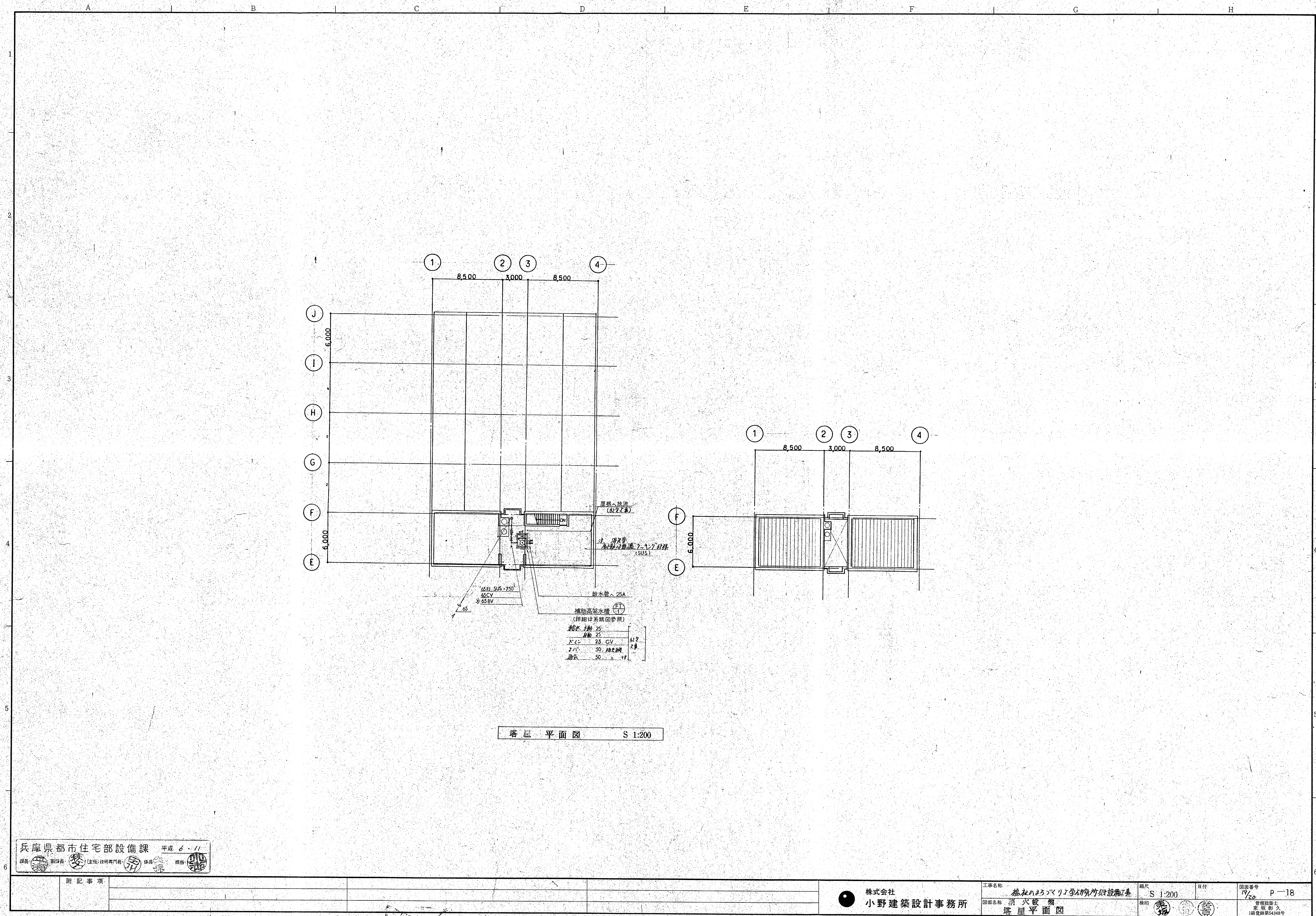
- 注
- スプリンクラー配管に於て特記無きサイズは 25A とする。(末端ヘッド 2 個まで)
 - 下記事項を参照のこと。
 - 貯水槽、呼水槽、補助高架水槽への給水工事 (衛生工事・加圧)
 - スプリンクラーポンプ及び補助高架水槽の基礎工事 (土木工事・新設消火器)
 - 電気設備全般 (電気工事) (ポンプ制御盤等、貯水槽水圧調整ポンプ等 3P 等)
 - 図面に記載無き施工詳細については、別途図面を参照すること。
 - スプリンクラーヘッドの取付個数に対する配管の口径は下表による。
 - 100A は、別途図面を参照すること。

管の呼び径	ヘッドの個数
25A・32A	2 個以下
40A	3 個
50A	4~6 個
65A	7~12 個
80A	13~20 個
100A	21 個以上

兵庫県都市住宅部設備課 平成 6・11
課長 副課長 主任技術員 係長 担当

株式会社
小野建築設計事務所

工事名称 福祉のまちづくり学研究所衛生設備工事
図面名称 消火設備
スプリンクラー配管 系統図・凡例
縮尺
日付 14/20
図面番号 P-13
登録建築士 東 敏 彰 久
1級登録第 54348 号



兵庫県都市住宅部設備課 平成 6.11

附記事項

株式会社
小野建築設計事務所

工事名称
消防設備
塔屋平面図

縮尺
S 1:200

日付
19/20

図面番号
P-18

管理職
東坂彰久
1級建築士54946号